

7

家族が離れているときの安否確認の方法を決めていますか？

災害が起き、人々が一齐に電話やインターネットを使用すると、回線が込み合い、家の電話や携帯電話はつながりにくくなります。

災害時は、なるべく電話の使用は控え、緊急時にサービスが提供される「災害用伝言ダイヤル171」や「災害用伝言板」の利用を心がけましょう。

●災害用伝言ダイヤル171

地震などの災害が発生し、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合に開始されるサービスです。

●災害用伝言板

震度6弱以上の地震など、大きな災害が発生すると開始されるサービスです。携帯電話やスマートフォンからご自身の安否情報を登録すると、インターネットを通じて全世界から内容を確認できます。

災害用伝言ダイヤル171	携帯電話 災害用伝言板
伝言の録音方法 171▶1▶(000)0000-0000▶ ガイダンスが流れます 被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を	各社のトップメニューから「災害用伝言板」を開く
伝言の再生方法 171▶2▶(000)0000-0000▶ ガイダンスが流れます 被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を	伝言の録音方法「録音」を選択 伝言の確認方法「確認」を選択
災害用ブロードバンド伝言板web171 https://www.web171.jp	伝言を入力する(最大100文字まで) 被災地の方の携帯電話番号を入力して伝言を見る

8

避難の前に電気のブレーカーを落とす、施錠するなど、すべきことを知っていますか？

二次災害を防止するため、避難する前に自宅ですべきことを確認しておきましょう。

- 空き巣や、火災の延焼を防ぐため家の戸締まりを忘れずに！
- 忘れずに、ガス・水道の元栓を閉める。
- 電気が復旧した時に、壊れたり倒れた電化製品に通電して火災が発生することを防ぐため、**電気のブレーカーを落とす**(感震ブレーカーの取り付けも効果的)。
- 探しに来た人に無事を伝えられるように、玄関に「全員無事です」といったメモを貼りましょう。

